

10月7日（金）彦根市立稲枝中学校を訪問しました！

## 対談テーマ

### 部活動の地域移行について

先行的に部活動の地域移行に取り組む彦根市立稲枝中学校の状況を視察し、将来を見据えた部活動の指導の在り方や教員の働き方改革について対談しました。

## 訪問した委員

土井 真一 委員      岡崎 正彦 委員      野村 早苗 委員      石井 太 委員

## 彦根市立稲枝中について

「知性と徳を磨き 身と魂を鍛える生徒の育成」を学校教育目標とし、家庭や地域に信頼される学校づくりの推進に取り組んでいます。

昨年度から、地域運動部活動推進事業の拠点校として、地域・生徒・保護者・学校にとってよりよい形となるように部活動の地域移行の取組を進めています。



## 意見交換より

委員：地域部活動の取組について生徒の受け止めはどうか。

事務局：専門的な指導を受けたいと思う生徒、土日も部活動をしたいと考える生徒などがいる。

学校：様々なスポーツをしたいと考え、平日と土日で参加する部活動を変えている生徒がいる。

委員：生徒に選択肢が増えるのはいいこと。

委員：例えば、「大会への出場は嫌だけど、卓球は好き。」という生徒の思いを大切に教育的配慮が必要。

委員：指導者を募集する際の課題は。

事務局：土日に指導することになるため、平日に仕事がある現役世代を集めることは難しい。

委員：大学生を指導者に迎えることは考えられないか。

事務局：大学生とつながりがないのがネック。例えば大学との連携で、マッチングシステムが構築されるようなことがあれば、大学生にも指導をお願いするチャンスができると思う。

委員：学区外の生徒を受け入れるのか。

事務局：現在のところ、稲枝中学区の生徒に限るが、今後、子どもの数が減ってきたときにはチーム編成などの面から必要になる可能性がある。

県教委：他に、大会の出場についてのルールなどの条件整備を進めていく必要がある。



- ・委員…県教育委員
- ・学校…彦根市立稲枝中学校
- ・事務局…稲枝地区学校支援協議会（地域運動部活動事務局）
- ・県教委…滋賀県教育委員会事務局